

第 32 期  
報告書

BUSINESS REPORT

平成 21 年 4 月 1 日から  
平成 22 年 3 月 31 日まで

## 経営理念

夢を持って、美を求め、形にする。

# Dream. Beauty. Form.

私たち日本精密は「夢・美・形」の追求によって、はじめて輝く明日がやって来ると信じています。

「実現できると信じる心」が、企業の継続と社員の幸せ、そして社会への貢献を実現する原動力となります。

## ごあいさつ

# 日本の“ものづくり技術”を世界へ。

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格段のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、「日本の“ものづくり技術”を世界へ。」をモットーに、1978年の創業以来、腕時計バンドの製造をメインにメガネフレーム等、精密部品加工業として業務を拡大してまいりました。

1991年以降、荒波のように変化する世界の経済状況に応じて常に業務革新を行い、主力製品である時計バンドの低価格化、マスプロダクト製品などの海外生産化を実現し、世界市場で勝てるコスト競争力で対応しております。

当社の『人材力』は、6つのチカラ「提案力・開発力・コスト力・技術力・品質力・管理力」をベースに国内一流企業や海外メーカーの高いニーズに応えております。

私たちメーカーの責任としてデザイン、ファッション、トレンドを常にキャッチアップし、絶えず斬新な発想で「高付加価値製品」を開発・提案・提供することで社会に貢献していただける企業であるように社員一丸で臨みます。

さて、当社の第32期報告書（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）をお届けするにあたり、ご挨拶をかね、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。



代表取締役社長

岡林 博

平成22年6月

グラフで見る日本精密

# 連結業績の概要

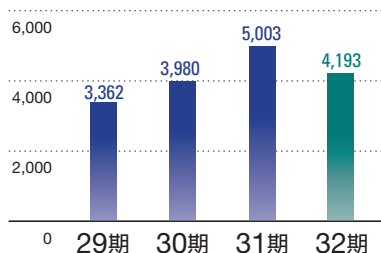
当連結会計年度における我が国経済は、悪化した景気の一部に底入れの兆しは見えるものの、厳しい雇用情勢、設備投資の低迷、急激な為替変動と慢性的なデフレ状態など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは経営目標達成に向け売上の増加と利益の増大に注力してまいりましたが、消費低迷による売上減少の影響は避けられず、結果、当連結会計年度の業

績は、連結売上高 4,193,175千円（前年同期は5,003,095千円）となりました。損益につきましては、売上総利益は1,099,480千円（前年同期は1,410,713千円）、営業損失は39,104千円（前年同期は営業利益144,225千円）、経常損失は56,189千円（前年同期は経常利益150,699千円）、当期純損失は52,876千円（前年同期は当期純利益43,056千円）となりました。

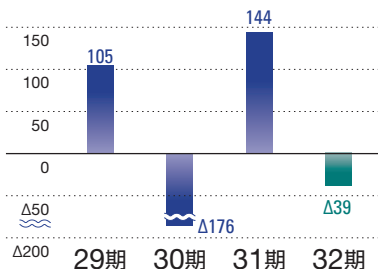
## 売上高

(単位：百万円)



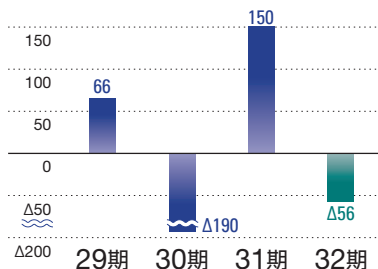
## 営業利益

(単位：百万円)



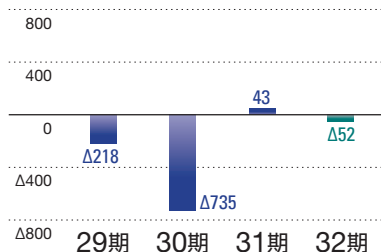
## 経常利益

(単位：百万円)



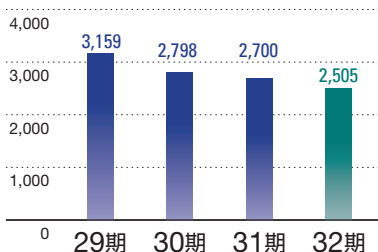
## 当期純利益

(単位：百万円)



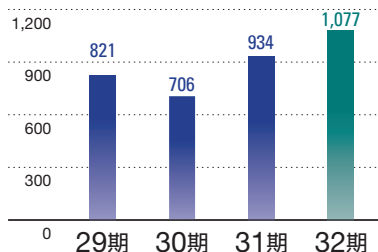
## 総資産

(単位：百万円)



## 純資産

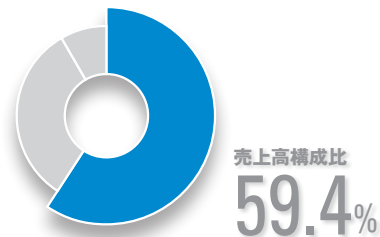
(単位：百万円)



## 事業別営業の概況

### 連結部門別事業の概況

#### 時計バンド事業



**売上高**  
24 億 92 百万円  
(前年同期：31億62百万円)

**営業利益**  
49 百万円  
(前年同期：3億45百万円)

#### 営業の概況

時計バンド事業は、スイスの高級時計メーカーへの売上は、ヨーロッパの景気後退の影響を受け、著しい減少があり、前年同期比937,437千円の売上減少となりました。一方、国内大手メーカーへの売上は、NISSEY VIETNAM CO.,LTD.及び中国国内協力企業との密接な協力に基づく開発力、コスト競争力、生産力、品質管理能力等の総合力を評価され、G-Shock、PRO TREC、OCEANUS、MT-G、MR-G、Baby-G、G-ms モデル等の金属バンド及び金属樹脂コンパンドの受注増加につながり、275,865千円の大規模な売上増加となりました。その結果、売上高は2,492,183千円(前年同期比21.2%減)、営業利益は49,237千円(前年同期比85.7%減)となりました。

#### メガネフレーム事業



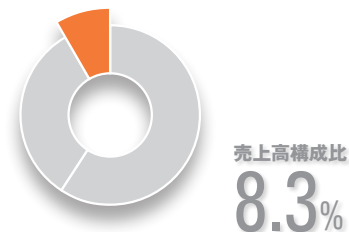
**売上高**  
13 億 54 百万円  
(前年同期：15億4百万円)

**営業損失**  
90 百万円  
(前年同期：1億77百万円)

#### 営業の概況

メガネフレーム事業は、国内市場での大手チェーン店との取引開始による売上増加と韓国市場での受注が増加しましたが、国内市場での価格競争激化と市場縮小及びヨーロッパでの消費後退の影響により売上減少となりました。その結果、売上高は1,354,573千円(前年同期比9.9%減)、営業損失は90,817千円(前年同期は営業損失177,891千円)と損失額は縮小しました。

#### その他事業



**売上高**  
3 億 46 百万円  
(前年同期：3億36百万円)

**営業利益**  
2 百万円  
(前年同期：営業損失22百万円)

#### 営業の概況

その他事業は、国内での静電気除去器関係の減少がありましたが、一方では携帯電話機用外装部品の売上寄与がありました。海外では釣具部品の若干の減少がありました。その結果、売上高は346,418千円(前年同期比2.9%増)、営業利益は2,475千円(前年同期は営業損失22,943千円)と営業損益は黒字に転換しました。

## 事業紹介

## 時計バンド事業



## | 事業内容の紹介

子会社のNISSEY VIETNAM CO.,LTD.において製造及び当社香港支店において仕入し、当社及び子会社のNISSEY VIETNAM CO., LTD.で販売しております。なお、当社において一部加工を行っております。

## | 今後の課題

主力である時計バンド事業は、海外大手高級品メーカーについては、引き続き新素材、新構造の高付加価値品の提案営業により、受注の維持、利益の拡大を図る必要があります。

国内大手メーカーについては、同社の高付加価値化による拡大戦略に対応するため、特に時計バンド等金属加工分野に精通した技術者の確保と香港支店を通じた派遣を行い、中国の協力企業の早急な育成、新製品の円滑な立ち上げ、量産品質を確保すること、また新製品情報・生産情報の共有を図りながら当社と当該協力工場及び得意先との密接な協力関係を維持していくことが必要であります。

## 事業紹介

## メガネフレーム事業



## | 事業内容の紹介

当社、子会社の株式会社村井及び持分法適用の関連会社NS Murai Inc.において企画し、子会社のNISSEY VIETNAM CO.,LTD.において製造及び当社香港支店において仕入し、当社、子会社のNISSEY VIETNAM CO.,LTD.、子会社の株式会社村井及び持分法適用の関連会社NS Murai Inc.で販売しております。

## | 今後の課題

メガネフレーム事業については、株式会社村井では、大型チェーン店に対してブランドOEM販売の推進による売上拡大と、コスト競争力を高めるため保有ブランドの再構築及び海外調達をさらに推進し、販売効率の向上・社内管理コストの削減を図ります。当社のメガネフレーム事業は、国内市場のニーズに合わせた製品開発と大手チェーン店への販売を拡大すること及びNS Murai Inc.の企画による新製品を円滑に立ち上げ、韓国市場への参入を成功させます。この両方の達成により大幅に売上を拡大します。NISSEY VIETNAM CO.,LTD.では、デザイナーと新構造考案等開発部門の人材等の育成、開発力向上、製品開発期間の短縮、生産技術力の向上、操業度向上等による大幅な製造コストの引き下げ、急激な生産拡大と品質確保の両立を図ります。

## その他事業



### 事業内容の紹介

静電気除去器、釣具部品、防犯機器、グラフトン消臭関連品及びイオンプレーティングの製造販売を行っておりますが、釣具部品及びイオンプレーティングについては、子会社の NISSEY VIETNAM CO., LTD. で製造しております。なお、子会社のエヌエスジー株式会社は、消臭剤の販売をしております。

### 今後の課題

その他事業については、静電気除去器に加え工具品関係の新製品拡充を図り、得意先に密着した開発と生産に徹してまいります。

新規事業としては、当社第四の柱を目指し携帯電話用外装部品の営業を継続して進めてまいります。

# 中国、ベトナムでの2拠点体制 低コスト化・短納期化を達成



## NISSEY VIETNAM CO.,LTD.

1990年代、国内他企業の多くが中国進出を模索するなか、私たちはいち早くベトナムの将来性に着目。2000年までに第2工場を稼働させ、『時計バンド』『メガネフレーム』を中心に製造を行っています。



CHINA  
HONG KONG

VIETNAM  
HO CHI MINH

## 企画開発、販売・営業計画、経営管理を日本で

日本精密は1978年、日本が長年じっくりと培ってきた世界に誇る“日本のものづくり技術”を背景に、埼玉県秩父の山峡で産声をあげ、爾来（じらい）二十余年埼玉・秩父を中心に発展してきました。その後さらなる世界市場のニーズである「高付加価値製品」の「低コスト化」に応えるため、ベトナムへの製造拠点移設以来、埼玉県川口市に本社を構え、日本において

当社経営の根幹である経験豊富な人間力で「企画開発、販売・営業計画」などのすべてを一元管理しています。お客様のニーズを的確に捉える営業力を開発へ生かす。どこよりも迅速に、お客様の満足度に高く応える製品をカタチにする。確かな技術に裏打ちされた製品を提供する。それが日本精密の使命であり、社会への貢献の恒久的責任であると考えます。



KOREA

SEOUL

JAPAN  
SAITAMA

#### NIHON SEIMITSU HONG KONG BRANCH

香港支店は1987年に設立され、ベトナム進出前より当社の東アジアにおける仕入・販売戦略を担ってきました。近年ではG-Shock等の金属バンドや金属樹脂コンポバンドの大量受注などで成果を上げています。



#### 海外展開の歴史

1987年(昭和62年) 10月  
香港支社を開設(現香港支店)

1994年(平成6年) 11月  
ベトナム社会主義共和国ホーチミン市にメガネフレームの生産拠点として子会社NISSEY VIETNAM CO.,LTD.を設立

2000年(平成12年) 3月  
子会社NISSEY VIETNAM CO.,LTD. ISO9001  
認証取得

2000年(平成12年) 5月  
子会社NISSEY VIETNAM CO.,LTD. の新工場竣工、時計バンドの現地生産を開始

2000年(平成12年) 10月  
子会社NISSEY VIETNAM CO.,LTD. にて応用品、  
スポーツ用品の現地生産を開始

2001年(平成13年) 7月  
子会社NISSEY VIETNAM CO.,LTD.にイオンブ  
レーティング加工を移管

2009年(平成21年) 11月  
韓国ソウルに合弁会社NS Murai Inc.を設立

## さらなるコスト競争力を生み出すために

日本における開発のチタニウム金属加工技術を生かした時計バンド、メガネフレーム、釣具などの低コスト安定供給体制はユーザー志向に合致し、当社製品のコスト競争力は飛躍的に増大しました。川口本社における確かな経営管理とコスト削減効果をテコに強い会社

へ変身させ、海外生産拠点の利をさらに生かすため、成長産業に属する有力な会社に対する生産協力・共同開発を提案し、新規有望製品を立ち上げるべく、企業開拓を積極的に推進していきます。

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当期末 平成22年3月31日現在	前期末 平成21年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	1,656,970	1,735,655
固定資産	849,010	964,992
有形固定資産	590,243	628,719
無形固定資産	182,376	177,087
投資その他の資産	76,390	159,185
資産合計	2,505,980	2,700,648
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,213,141	1,546,068
固定負債	215,724	219,830
負債合計	1,428,866	1,765,898
<b>純資産の部</b>		
株主資本	1,064,106	927,026
資本金	1,565,875	1,470,875
資本剰余金	1,548,980	1,453,980
利益剰余金	△2,010,537	△1,957,660
自己株式	△40,212	△40,169
評価・換算差額等	△1,991	△7,276
その他有価証券評価差額金	△2,123	△7,276
為替換算調整勘定	131	—
新株予約権	15,000	15,000
純資産合計	1,077,114	934,749
負債純資産合計	2,505,980	2,700,648

### 連結損益計算書

(単位：千円)

	当期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	前期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
売上高	4,193,175	5,003,095
売上原価	3,093,695	3,592,381
売上総利益	1,099,480	1,410,713
販売費及び一般管理費	1,138,585	1,266,488
営業利益又は営業損失(△)	△39,104	144,225
営業外収益	16,976	42,064
営業外費用	34,060	35,590
経常利益又は経常損失(△)	△56,189	150,699
特別利益	29,980	24,952
特別損失	20,355	121,306
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△46,564	54,345
法人税、住民税及び事業税	6,312	11,289
法人税等調整額	—	—
当期純利益又は当期純損失(△)	△52,876	43,056

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	前期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	206,847	419,655
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,310	△72,648
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,196	△129,648
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,931	1,721
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	77,272	219,080
現金及び現金同等物の期首残高	356,552	137,472
現金及び現金同等物の期末残高	433,825	356,552

## 会社概要／株式情報 (平成22年3月31日現在)

### 会社概要

商号	日本精密株式会社
設立	昭和53年8月
本社	〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8川口センタービル8階 TEL: 048-225-5311 FAX: 048-226-5356
資本金	1,565,875千円
従業員	43名
事業内容	時計バンドの製造、販売 メガネフレームの製造、販売 イオンプレーティング（表面処理加工） 釣具用部品、静電気除去器、その他製品の製造、販売
主要な関係会社	NISSEY VIETNAM CO.,LTD. 株式会社村井 NS Murai Inc.

### 役員 (平成22年6月23日現在)

代表取締役社長	岡林博
取締役	井藤秀雄
取締役	白坂敬次
取締役	金民秀
取締役	権経訓
取締役	金宰民
取締役	崔夏榮
社外取締役	安本昇市
常勤監査役	中嶋春樹
社外監査役	佐藤和彦
社外監査役	河津博史

### 執行役員 (平成22年6月23日現在)

常務執行役員	井藤秀雄
上席執行役員	白坂敬次
上席執行役員	朴成鎭
上席執行役員	新井富之
上席執行役員	上林一男
執行役員	田崎政己
執行役員	古屋野裕
執行役員	山田幸三
執行役員	守屋豊

### 株式の状況

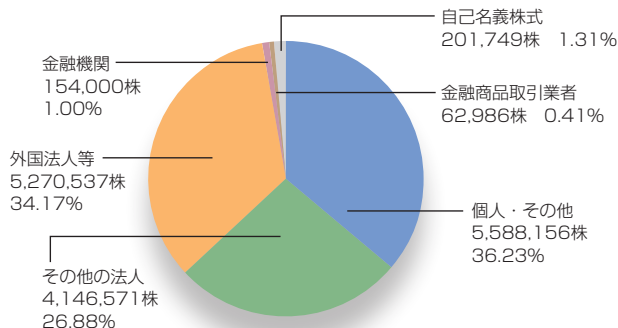
発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式総数	15,222,250株（自己株式201,749株を除く）
株主数	1,010名

### 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社ジェンコ	3,000	19.71
ドウエルインベストメント株式会社	2,500	16.42
アジア文化技術投資株式会社	1,428	9.38
株式会社エムアンドエフシー	1,190	7.82
SKS TRADING USA, INC.	1,000	6.57
篠邊貞道	452	2.97
金昌明	229	1.50
日本精密社員持株会	214	1.41
費國寶	140	0.92
植竹哲也	129	0.85

(注)当社は、自己株式201千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別分布状況



# 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所 (JASDAQ市場)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載 URL <a href="http://www.nihon-s.co.jp/">http://www.nihon-s.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他の やむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告 いたします。)

(ご案内)

- 株式に関する住所変更等のお問合せおよびお届け出について  
株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。  
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座について  
特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金について  
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。